

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		地域・在宅看護論実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担 当 教 員		若本 雅美	実務経験とその関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》							
地域で暮らし人々とその人たちを支える人やしくみ、地域での看護の活動を知る。看護の対象である人の暮らしを知ること で今後の看護について考えることを目的とする。							
《成績評価の方法と基準》							
実習態度、出席状況、学習内容、コミュニケーション、看護技術等により総合的に判断する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
各教科書							
《授業外における学習方法》							
実習オリエンテーション(①実習ガイド説明 ②実習要項・目標達成シートについて ③リフレクション演習 ④実習マナー ⑤カンファレンスについて ⑥実習グループ別GW ⑦目標達成シートの助言)を実施し、実習準備をする実習後は、実習の学びをまとめる。							
《履修に当たっての留意点》							
実習要項をよく読んで、実習内容、到達目標を理解して実習に臨むこと。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域で暮らす中にどのような社会資源があるのか理解することができる。		所持している教科書・参考書	実習要項を読み、この実習で何を学ぶのか、また、どのようなことが学べるのかをイメージする。 目標達成シートの記載	
		各コマにおける授業予定	社会福祉協議会の地域での取り組み、互助と自助とのつながりを学ぶ。				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	職能団体である看護協会について理解できる。 地域での医療体制の仕組みを理解する。		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	看護協会の役割としくみをとおして学習する。				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域で暮らす人にとって保健所の機能と役割について理解することができる。		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	保健所の機能と役割について学習する。				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域で暮らす人々の生活の中に、どのような健康行動があるのか理解できる。		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	地域で暮らす人々と行事等を通し、生活と健康について学習する。				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習のリフレクション。		所持している教科書・参考書	実習記録 評価表 自己評価	
		各コマにおける授業予定	実習の学びと課題をふりかえり、学びを共有する。				